

令和6年度 東京都立第一商業高等学校 学校経営報告

1 令和6年度の取組目標と自己評価

項目	取組目標	自己評価
1 学校経営	(1)地域探究学習を柱とする新しい一商教育モデルの完成と継承 (2)適正な入選倍率の確保 (3)体罰の禁止	(1)地域探究推進校事業の完成年度に探究学習について文部科学大臣表彰を受けることができた。 (2)一次・分割前期入試で適正な倍率を確保することを目標としたが、推薦1.49倍(前年度1.30倍)と前年度を上回ったものの一次0.87倍(同0.93倍)と前年度を下回る結果となり、適正な入選倍率を確保できなかった。 (3)人権を尊重し、体罰及び不適切な言動を認めない学校経営を行い、体罰事故等は発生しなかった。
2 学習指導	(1)自己肯定感を高める学習指導 (2)基礎学力の定着 (3)渋谷学の着実な実施	(1)(2)学校評価アンケートでは「わかりやすい授業の工夫」について肯定的回答が83%(前年度74%)に上昇し、過去3年間で28ポイントも改善した。 (3)年度当初に渋谷学の校内研修を行い、全教職員が他教科の取り組みを学び、その知見を活かす取り組みを行った。
3 生活指導	(1)ビジネスパーソンとして必要なモラルやマナーの指導 (2)いじめの未然防止と安心・安全な学校づくり	(1)学校評価アンケートでは「基本的な生活習慣」の肯定的回答が84%(前年度59%)と大きく改善した。 (2)学校いじめ対策委員会で情報を共有し、生命尊重の教育を推進し、いじめのない安心・安全な学校づくりを推進し、外部専門家を招いてSNSに関する教育も行った。
4 進路指導	(1)就職希望者の進路実現 (2)進学希望者の進路実現 (3)公務員希望者の進路実現	(1)就職者は40名(20%)と過去4年でも最も多く、全員が一回目の試験で就職内定を得た。 (2)今年度は指定校推薦以外に総合型選抜で東京女子大学や駒澤大学などに合格する生徒も数名出た。 (3)公務員試験は国税庁を含む3名の生徒が合格した。
5 保健指導	(1)感染症予防の徹底 (2)校内外の美化の励行	(1)新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザなどの感染症予防に力を入れたが1学期と2学期に1クラスずつインフルエンザで学級閉鎖を実施した。 (2)校内及び校外における美化を推進するとともに、環境保全を図る活動に取り組んだ。
6 特別活動・部活動	(1)ポストコロナの学校行事の工夫 (2)部活動の振興	(1)今年度は文化祭の一般公開を拡大し前年比1.6倍の来場者を記録したが、懸念された文化祭後の感染症拡大は見られなかった。 (2)今年度は国際交流ボランティア部が東京都教育委員会表彰を受賞した。
7 募集・広報	(1)募集・広報活動の見直しと改善 (2)学校開放事業の推進	(1)募集・広報活動を一から見直し、管理職と総務部と商業科が三位一体となって取り組んだが残念ながら結果には十分には結びつかなかった。 (2)地域及びPTAと連携し、地域の行事に協力した。学校開放事業も予定通り実施した。

2 令和7年度以降の課題とそれに対する改善策

令和3年度から4か年計画で取り組んだ東京都の地域探究推進事業に基づく地域探究学習を柱とする新しい一商教育モデルは一応の完成をみた。令和7年度以降もこの地域探究学習を継続・改善するために新たに東京都のIBLハイスクールに応募し、無事に指定を受けることができた。

しかしながら2年連続で実現できなかった学力検査に基づく入学者選抜における適正な倍率確保は令和7年度の大きな課題である。まずは学校案内の作成を前年度中に完了し、年度当初からすぐに募集広報活動に着手できるよう改善を図った。